

2022年4月12日

報道関係 各位

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

コカ・コーラ ボトラーズジャパン、埼玉県吉見町と 「包括連携に関する協定」を締結

「ボトル to ボトル」協働事業により日本国内の PET ボトルの循環利用を推進

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 最高経営責任者:カリン・ドラガン、以下 当社)は、本日4月12日、埼玉県吉見町(町長:宮崎善雄)と同町の地域活性化を図ることを目的とした「包括連携に関する協定」(以下、本協定)を締結しました。

本協定に基づき、当社と吉見町は、SDGs 推進に関すること、防犯・防災に関すること、健康・スポーツに関することなど多岐にわたる分野において連携します。

連携第一弾として、使用済み PET ボトルを新たな PET ボトルに再生する、水平リサイクル(※)「ボトル to ボトル」事業において協働します。吉見町内の集積所で回収された使用済み PET ボトルは、粉碎・洗浄などの工程を経て、再原料化されます。本事業にて再生された PET 原料は、吉見町に所在する「コカ・コーラ ボトラーズジャパン埼玉工場」をはじめ、当社各工場にてコカ・コーラ社製品の容器に使われます。

当社はコカ・コーラシステムが目指す「容器の2030年ビジョン」(注1)において、パートナーとの協働による着実な容器回収・リサイクルスキームの構築などに取り組んでいます。このたび本協定に基づき、当社と吉見町は、「ボトル to ボトル」事業を協働することで、町民・事業者・行政の三者が一体となり、日本国内における PET ボトルの循環利用への貢献を目指します。

(※) 使用済み PET ボトルを回収・リサイクル処理したうえで PET ボトルとして再生し、飲料の容器として用いること。

【埼玉県吉見町における「ボトル to ボトル」協働事業プロセス】



【締結式の様子】



左から、当社サステナブルストラテジー部 渡邊真琴、吉見町長 宮崎善雄様、当社埼玉工場長 奥西英夫

【コカ・コーラ ボトラーズジャパン埼玉工場について】

所在地：埼玉県比企郡吉見町大字下細谷 943-1

稼働開始：1971 年

敷地面積：104,373 平方メートル

建屋面積：54,537 平方メートル

（注 1）「容器の 2030 年ビジョン」とは（<https://www.ccbji.co.jp/csv/environment/?id=tab3>）
2025 年までにすべての PET ボトル製品へのリサイクル PET 樹脂などのサステイナブル素材の使用、2030 年までに販売した自社製品と同等量の PET ボトルの回収、パートナーとの協働による着実な容器回収・リサイクルスキームの構築などに取り組んでいます。

※ニュースリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。最新の情報と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。